

事業所名

放課後等デイサービスビリーブ

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024年

9月

1日

法人（事業所）理念		Believe in a child' s potential～ 子供の可能性を信じる～		
支援方針		発達障害のお子さんの成長を保護者様、そして事業所職員が信じる事で、特に保護者への支援に力を注ぐ事を大切にしています。ITS技術の活用等により職員間での情報共有と支援の一本化及び関係機関との連携を円滑におこなっていきます。更に、理学療法士や5年以上の児童福祉経験のある保育士等による専門的支援を実施。		
営業時間		放課後 14時～17時15分 / 学休日 10時～16時	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	利用者の特性や年齢を配慮した療育活動プログラムを作成しながら、基本的な周辺自立スキルの取得、基本的な生活習慣リズムが身につくような配慮や、遊びや会話の中から健康・生活面の改善を目指す療育活動をしてまいります。また保護者にご協力を得ながら当施設とご家庭の間で連携支援をしてまいります。また障がい特性だけでなく、食事についての不安など生活全般の困り事にも寄り添った対応しております。		
	運動・感覚	安全に十分に配慮をした上で、事業所の設備や公園等の地域資源によるダイナミックに体を動かす粗大運動、目の動きや指先等の細やかな運動である微細運動、個人だけではなく集団遊びによる活動等より、利用者の身体特性や年齢に合わせた療育活動プログラムを作成します。更に視覚やバランス感覚・力や声量の強弱・他人に対する距離感等を含めた総合的な生活機能を伸ばす支援をしてまいります。その他各種療育活動プログラムを連携させながら、つまづきやすい対人関係スキルの向上も目指しております。		
	認知・行動	利用者の特性や年齢に応じた療育活動プログラムにより、物の大小、数の多い少ない、色彩の理解、物の形や大きさ、重さ等を意識し数や時間等の概念形成の習得を支援します。また様々な状況に応じた考え方や状況判断、集団活動の際に自分と他人の考え方や理解の違いを学び、認知の発達と行動の習得や認知の偏りやこだわりに対応する支援も行います。更にに感覚の偏りや集団行動に対する困難から生ずる行動障害の予防や適切な行動への対応に対する支援も行います。		
	言語 コミュニケーション	療育活動における利用者同士のやり取り等のコミュニケーションを通じての言語の基礎的能力の向上や、自分の表現ができるような環境を整え、言語によるコミュニケーションが育むよう支援します。また傾聴・要求・質疑応答の場面にて、相手の意図を理解して相手の考えを認める等、言語の内容をより理解できるような支援を行います。身振りや視覚的なサインなども活用する等により、様々なコミュニケーション手段の選択と活用ができるように支援します。		
	人間関係 社会性	利用者の年齢や特性等に応じた療育活動プログラムを作成し、他者との関わりや、自分の気持ちの調整等ができるといった、自身の特性を理解して行動の調整が行えるような支援をします。コミュニケーション能力の改善により、より良い人間関係身に着ける事や、他者と同じ空間で共存するためのルールを守る事等により、円滑に集団活動への参加ができるような豊かな社会性が身につけられるような支援します。		
家族支援		保護者に寄り添う支援を基本としつつ、家庭内全般への支援を行う事や、学校等への情報提供や関係機関連携による家族支援を行う。またITS技術の活用により時間的制約を少なくし気軽に相談支援が行えることに注力しております。	移行支援	利用者の成長に合わせたライフステージに沿った支援体制を重視し、保護者等と情報連携を行いつつ、支援が途切れる事がないよう支援を行います。
地域支援・地域連携		教育・福祉・医療サービス等の地域資源や地域機関を利用者や保護者の方がご利用される際の支援、またボランティアや地域行事等への参加する活動も企画しております。	職員の質の向上	所属する支援協会主催による毎月の研修参加に加え、虐待防止研修等の公的機関主催の研修会への参加及び実務経験に応じた児発管資格取得支援の実施。また他施設と連携し多くの事例に関われるよう配慮。
主な行事等		月ごとに季節感を感じられる行事や、誕生日会等の他社を思いやる気持ちを育む活動、「健康・生活」、「運動・感覚」の発達に繋がる屋外外出なども含む運動、更に進路選択に繋がるような職業体験を行事として実施しております。		

事業所名

ビリーブネクスト

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024年

9月

1日

法人（事業所）理念		Believe in a child' s potential～ 子供の可能性を信じる～		
支援方針		発達障害のお子さんの成長を保護者様、そして事業所職員が信じる事で、特に保護者への支援に力を注ぐ事を大切にしています。ITS技術の活用等により職員間での情報共有と支援の一本化及び関係機関との連携を円滑におこなっていきます。更に、理学療法士や5年以上の経験のある保育士や児童指導員による専門的支援を実施。		
営業時間		放課後 14時～17時45分 / 学休日 10時～16時	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	利用者の特性や年齢を配慮した療育活動プログラムを作成しながら、基本的な周辺自立スキルの取得、基本的な生活習慣リズムが身につくような配慮や、遊びや会話の中から健康・生活面の改善を目指す療育活動をしてまいります。また保護者にご協力を得ながら当施設とご家庭の間で連携支援をしてまいります。また障がい特性だけでなく、食事についての不安など生活全般の困り事にも寄り添った対応しております。		
	運動・感覚	安全に十分に配慮をした上で、事業所の設備や公園等の地域資源によるダイナミックに体を動かす粗大運動、目の動きや指先等の細やかな運動である微細運動、個人だけではなく集団遊びによる活動等より、利用者の身体特性や年齢に合わせた療育活動プログラムを作成します。更に視覚やバランス感覚・力や声量の強弱・他人に対する距離感等を含めた総合的な生活機能を伸ばす支援をしてまいります。その他各種療育活動プログラムを連携させながら、つまづきやすい対人関係スキルの向上も目指しております。		
	認知・行動	利用者の特性や年齢に応じた療育活動プログラムにより、物の大小、数の多い少ない、色彩の理解、物の形や大きさ、重さ等を意識し数や時間等の概念形成の習得を支援します。また様々な状況に応じた考え方や状況判断、集団活動の際に自分と他人の考え方や理解の違いを学び、認知の発達と行動の習得や認知の偏りやこだわりに対応する支援も行います。更にに感覚の偏りや集団行動に対する困難から生ずる行動障害の予防や適切な行動への対応に対する支援も行います。		
	言語 コミュニケーション	療育活動における利用者同士のやり取り等のコミュニケーションを通じての言語の基礎的能力の向上や、自分の表現ができるような環境を整え、言語によるコミュニケーションが育むよう支援します。また傾聴・要求・質疑応答の場面で、相手の意図を理解して相手の考えを認める等、言語の内容をより理解できるような支援を行います。身振りや視覚的なサインなども活用する等により、様々なコミュニケーション手段の選択と活用ができるように支援します。		
	人間関係 社会性	利用者の年齢や特性等に応じた療育活動プログラムを作成し、他者との関わりや、自分の気持ちの調整等ができるといった、自身の特性を理解して行動の調整が行えるような支援をします。コミュニケーション能力の改善により、より良い人間関係身に着ける事や、他者と同じ空間で共存するためのルールを守る事等により、円滑に集団活動への参加ができるような豊かな社会性が身につけられるような支援します。		
家族支援		保護者に寄り添う支援を基本としつつ、家庭内全般への支援を行う事や、学校等への情報提供や関係機関連携による家族支援を行う。またITS技術の活用により時間的制約を少なくし気軽に相談支援が行えることに注力しております。	移行支援	利用者の成長に合わせたライフステージに沿った支援体制を重視し、保護者等と情報連携を行いつつ、支援が途切れる事がないよう支援を行います。
地域支援・地域連携		教育・福祉・医療サービス等の地域資源や地域機関を利用者や保護者の方がご利用される際の支援、またボランティアや地域行事等への参加する活動も企画しております。	職員の質の向上	所属する支援協会主催による毎月の研修参加に加え、虐待防止研修等の公的機関主催の研修会への参加及び実務経験に応じた児発管資格取得支援の実施。また他施設と連携し多くの事例に関われるよう配慮。
主な行事等		月ごとに季節感を感じられる行事や、誕生日会等の他社を思いやる気持ちを育む活動、「健康・生活」、「運動・感覚」の発達に繋がる屋外外出なども含む運動、更に進路選択に繋がるような職業体験を行事として実施しております。		